

会員企業の現状に関するアンケート調査 報告書

令和3年8月2日
一般社団法人群馬県建設業協会

令和3年度が4カ月経過し、会員企業の現状について、**第一四半期**の受注状況と今後の見通し、年度の売上予想や、木材の供給が需要に追いつかないことに起因するいわゆる「ウッドショック」の影響に関してアンケート調査を実施しました。

調査期間 令和3年7月12日～19日

調査対象 一般社団法人群馬県建設業協会 本部会員 271社（全社対象）

回答社数 235社（回答率 86.7%）

【留意事項】

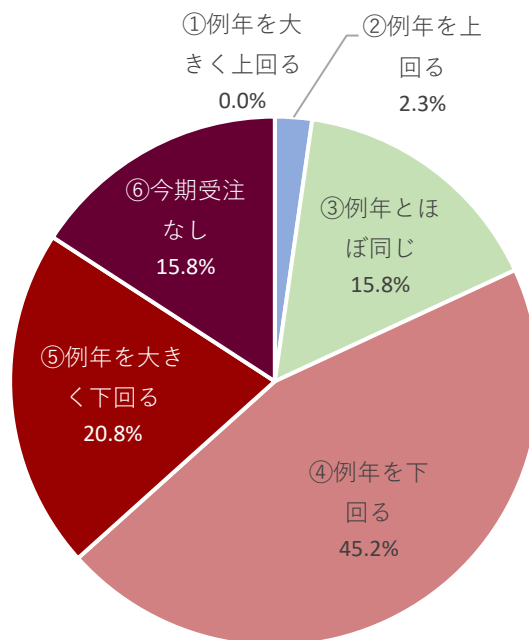
割合は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計の表記が必ずしも100.0%とはなりません。
選択項目毎に該当がない社を除くため、分母はその都度変わります。

1. 令和3年4～6月の群馬県発注工事（土木、建築を含む）の受注量

項目	選択社数
①例年を大きく上回る	0
②例年を上回る	5
③例年とほぼ同じ	35
④例年を下回る	100
⑤例年を大きく下回る	46
⑥今期受注なし	35

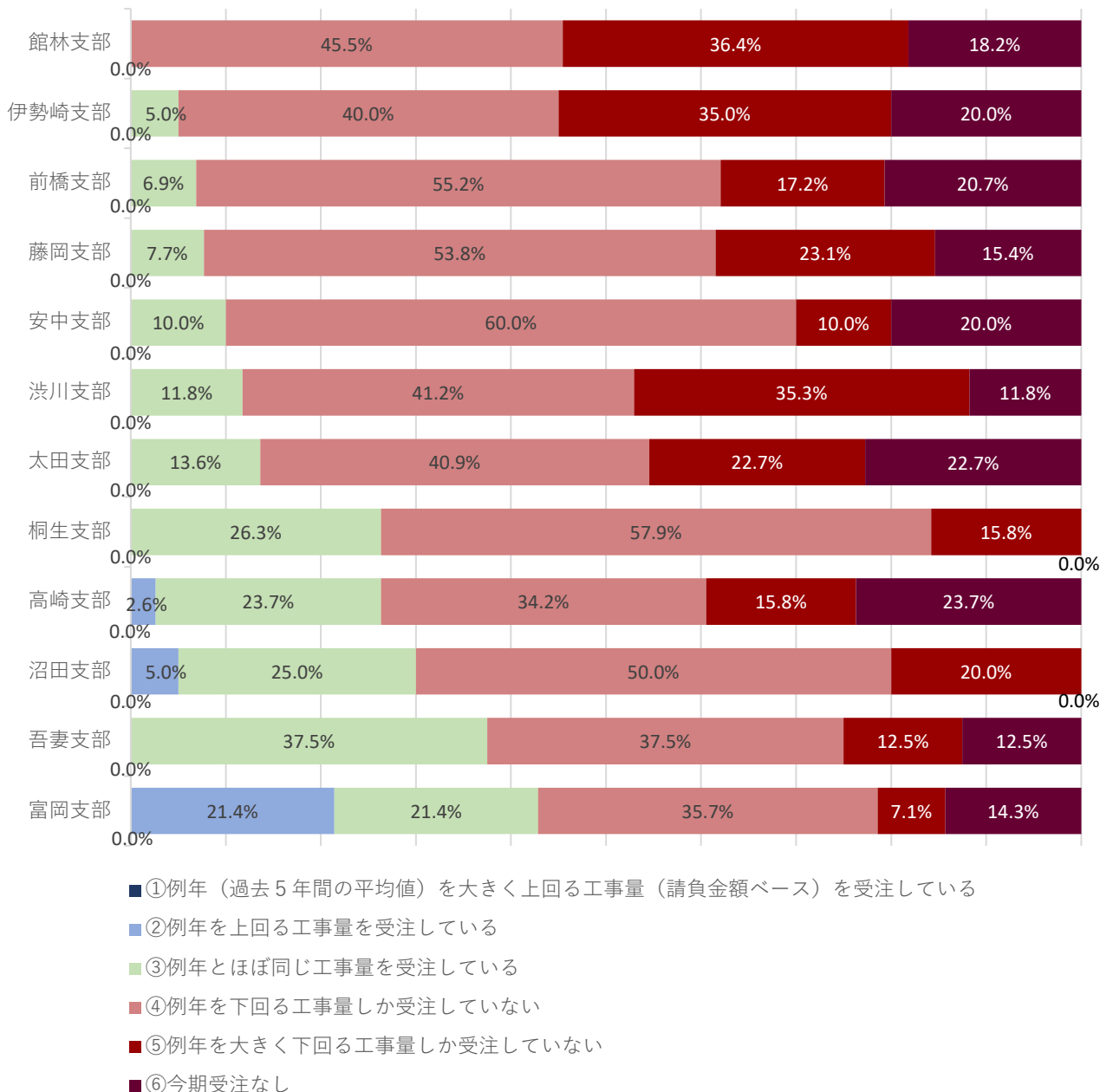
※該当なし(群馬県工事受注なし)と回答した14社を除く社数。

※⑥今期受注なしは、通年であれば群馬県工事の受注経験はあるが、今期(令和3年4～6月)での受注がなかった社数。



例年を上回る、もしくはほぼ同じと回答した割合は18.1%に留まり、今期受注なしを含めて例年を下回ると回答した割合は81.9%と高い数値となった。

【各支部別の状況】



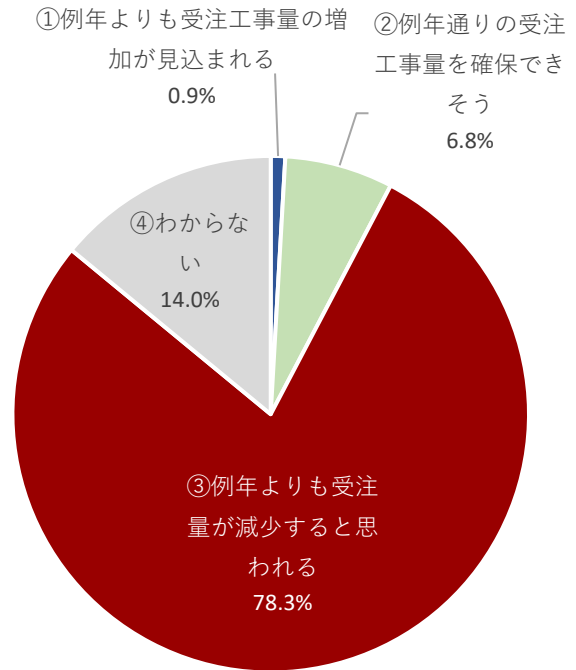
館林支部においては例年を上回る、ほぼ同じと回答した企業はなかった。県央から東毛においては例年を上回る、ほぼ同じと回答した企業が少なく、山間部では若干多い傾向にある。

2. 群馬県が公表している工事発注見通しから7月以降の工事受注（土木、建築を含む）の予想

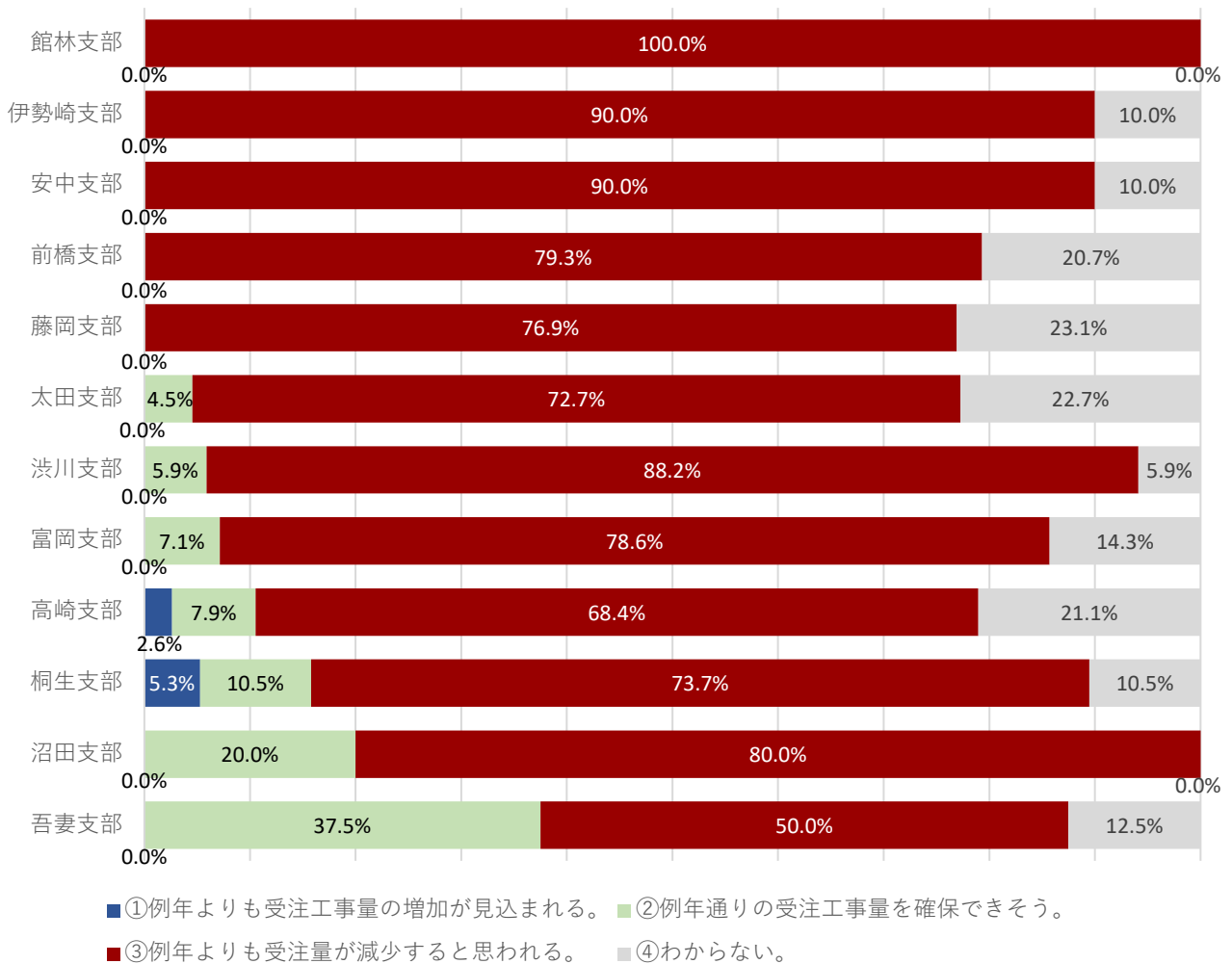
項目	選択社数
①例年よりも受注工事量の増加が見込まれる	2
②例年通りの受注工事量を確保できそう	15
③例年よりも受注量が減少すると思われる	173
④わからない	31

※該当なし(群馬県工事受注なし)と回答した14社を除く社数。

受注の減少を予測している企業が78.3%となり、多くの企業が先行きを不安視している。



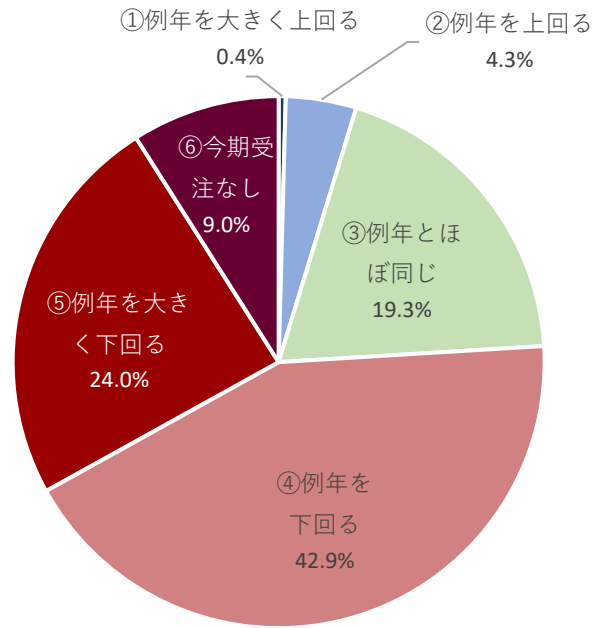
【各支部別の状況】



館林、伊勢崎、安中、前橋、藤岡の5支部は、「分からない」を含めて増加もしくは例年通りの受注量の確保が見込めないと回答した割合が100%となっている。

3. 令和3年4～6月の公共工事全体（国、群馬県、市町村発注の土木、建築を含む）の受注量

項目	選択社数
①例年を大きく上回る	1
②例年を上回る	10
③例年とほぼ同じ	45
④例年を下回る	100
⑤例年を大きく下回る	56
⑥今期受注なし	21

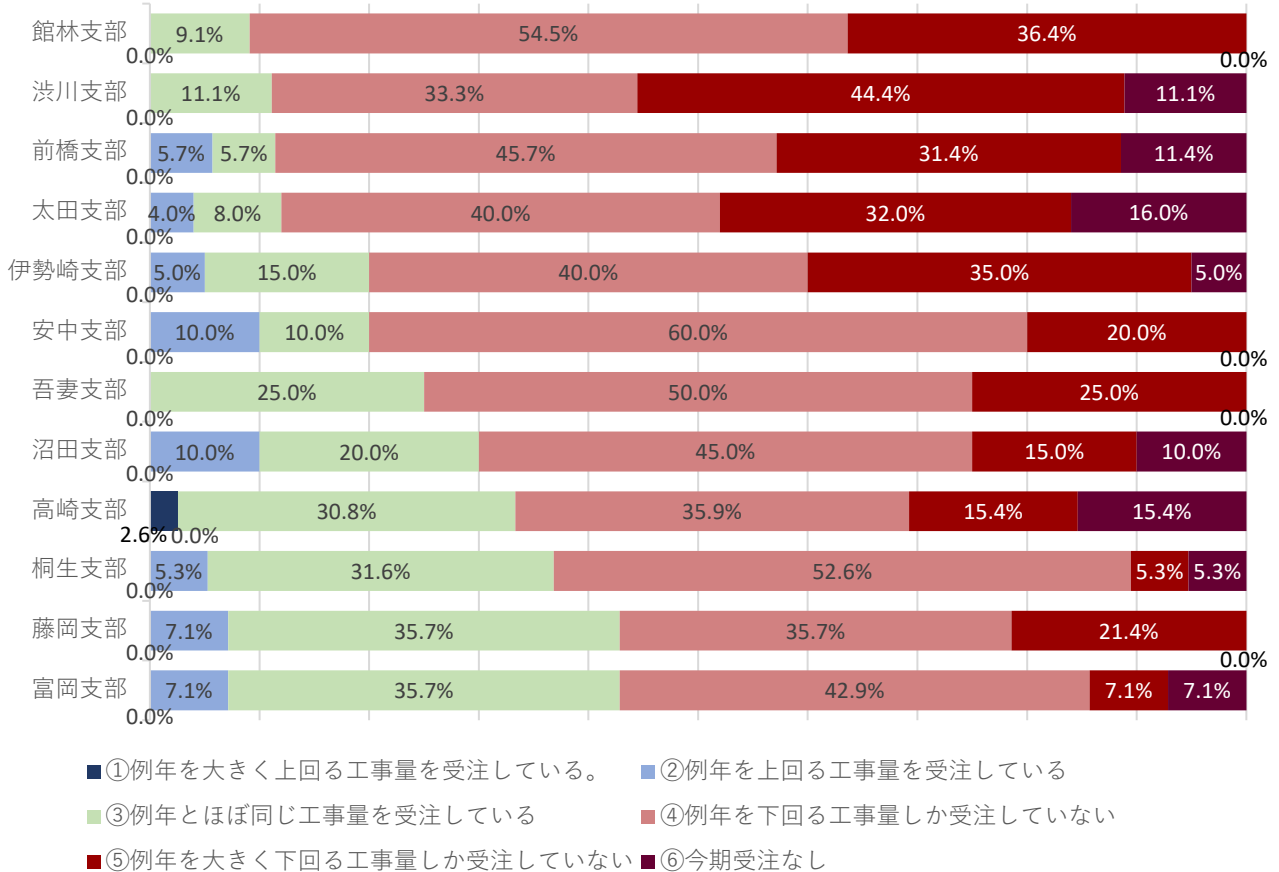


※該当なし(公共工事受注なし)と回答した2社を除く社数。

※⑥今期受注なしは、通年であれば公共工事の受注経験はあるが、今期(令和3年4～6月)での受注がなかった社数。

国土交通省、群馬県、市町村を含む公共工事全体であり、群馬県工事のみと比較すると、今期受注なしを含め例年を下回ると回答した割合は6ポイント低下したが、75.9%と高い数値となっている。

【各支部別の状況】

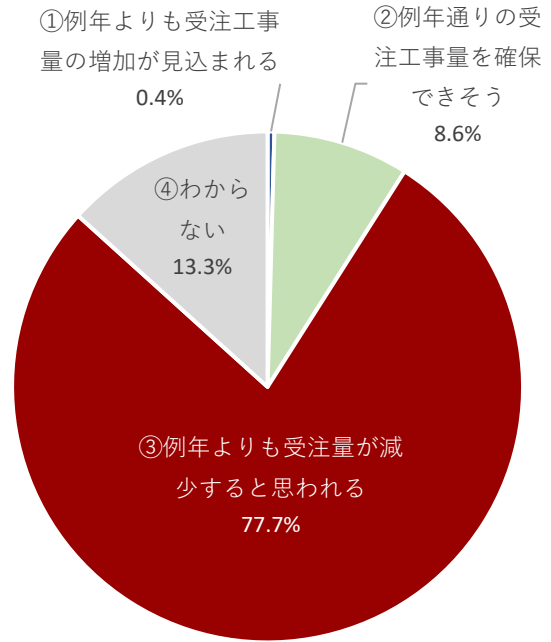


公共工事全体としては、例年を上回ると回答した企業の割合が群馬県工事に比べて微増している。ただし、最も多い富岡支部でも4割程度となっている。

4. 公表されている発注見通しから7月以降の公共工事全体（国、群馬県、市町村発注の土木、建築を含む）の工事受注の予想

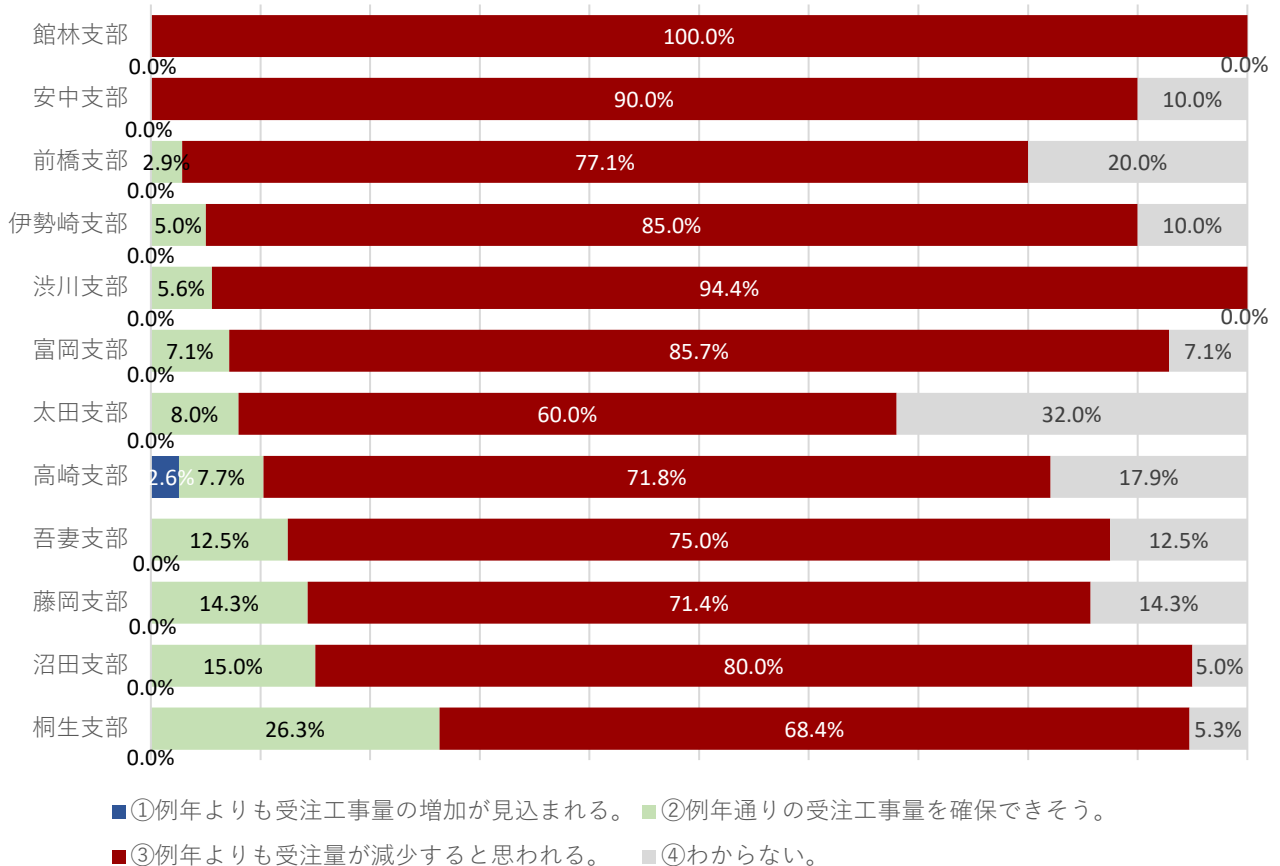
項目	選択社数
①例年よりも受注工事量の増加が見込まれる	1
②例年通りの受注工事量を確保できそう	20
③例年よりも受注量が減少すると思われる	181
④わからない	31

※該当なし(公共工事受注なし)と回答した2社を除く社数。



受注の減少を予測している企業が77.7%となり、多くの企業が先行きを不安視している。

【各支部別の状況】



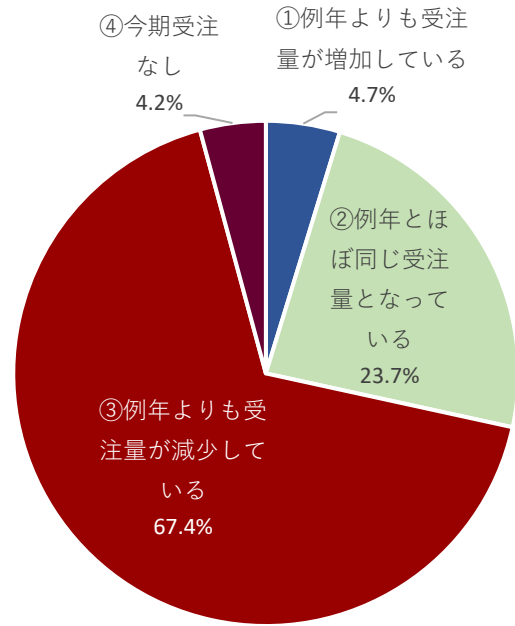
支部別では、館林支部会員は100%減少を予想している。例年どおり確保できるとの回答が多い桐生支部においても、その割合は3割程度となっている。

5. 令和3年4月～6月の民間工事の受注量

項目	選択社数
①例年よりも受注量が増加している	9
②例年とほぼ同じ受注量となっている	45
③例年よりも受注量が減少している	128
④今期受注なし	8

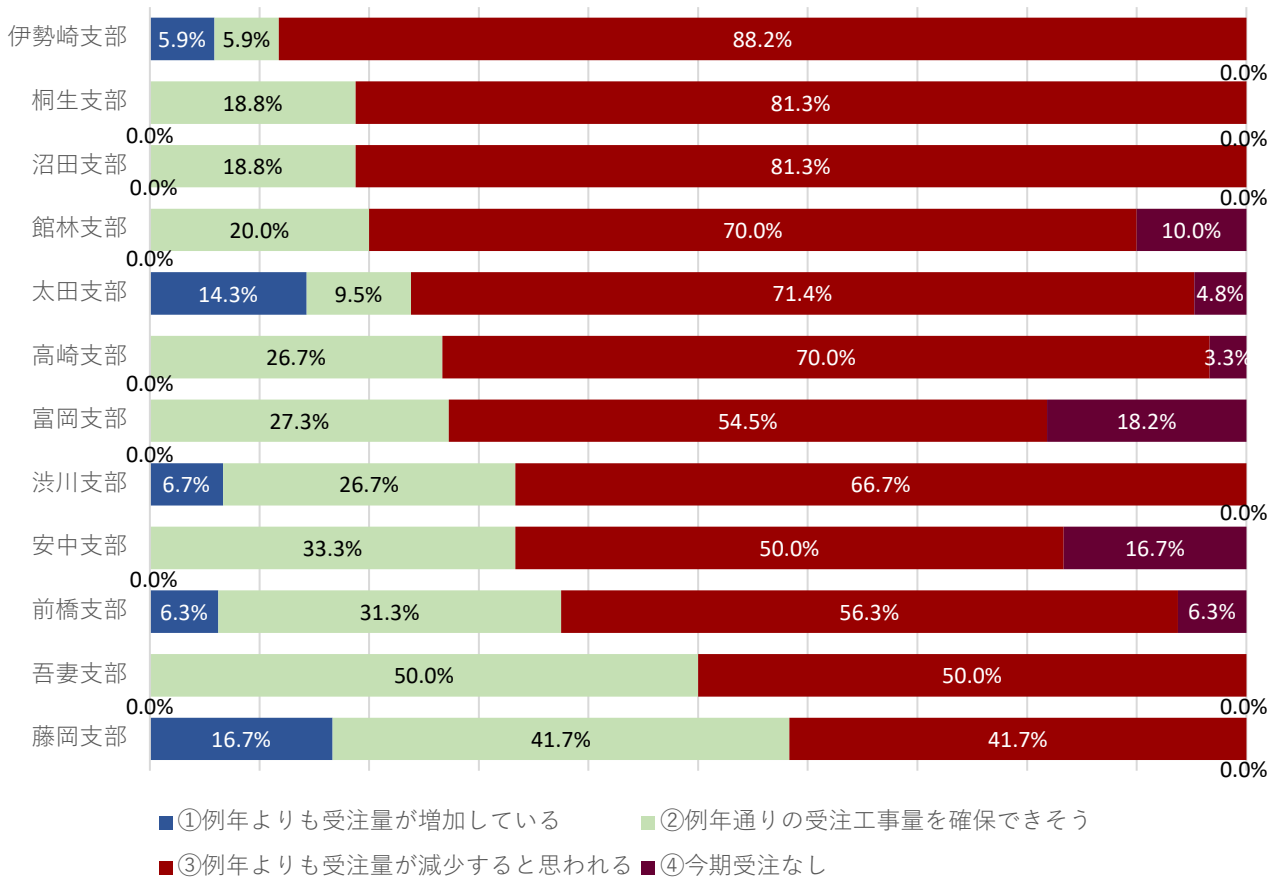
※該当なし(民間工事受注なし)と回答した45社を除く社数。

※④今期受注なしは、通年であれば民間工事の受注経験はあるが、今期(令和3年4～6月)での受注がなかった社数。



民間工事では、公共工事ほどではないが、例年よりも受注量が減少していると回答した割合が最も多かった。

【各支部別の状況】



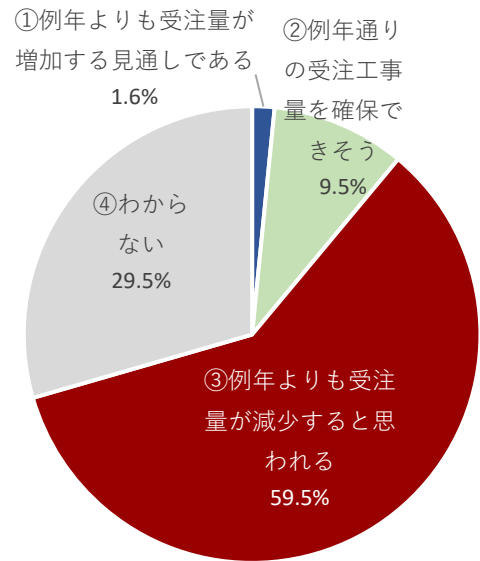
民間工事でも、公共工事ほどではないが、多くは受注量の減少を予測している。

6. ウッドショックの影響も踏まえた7月以降の民間工事の受注見通し

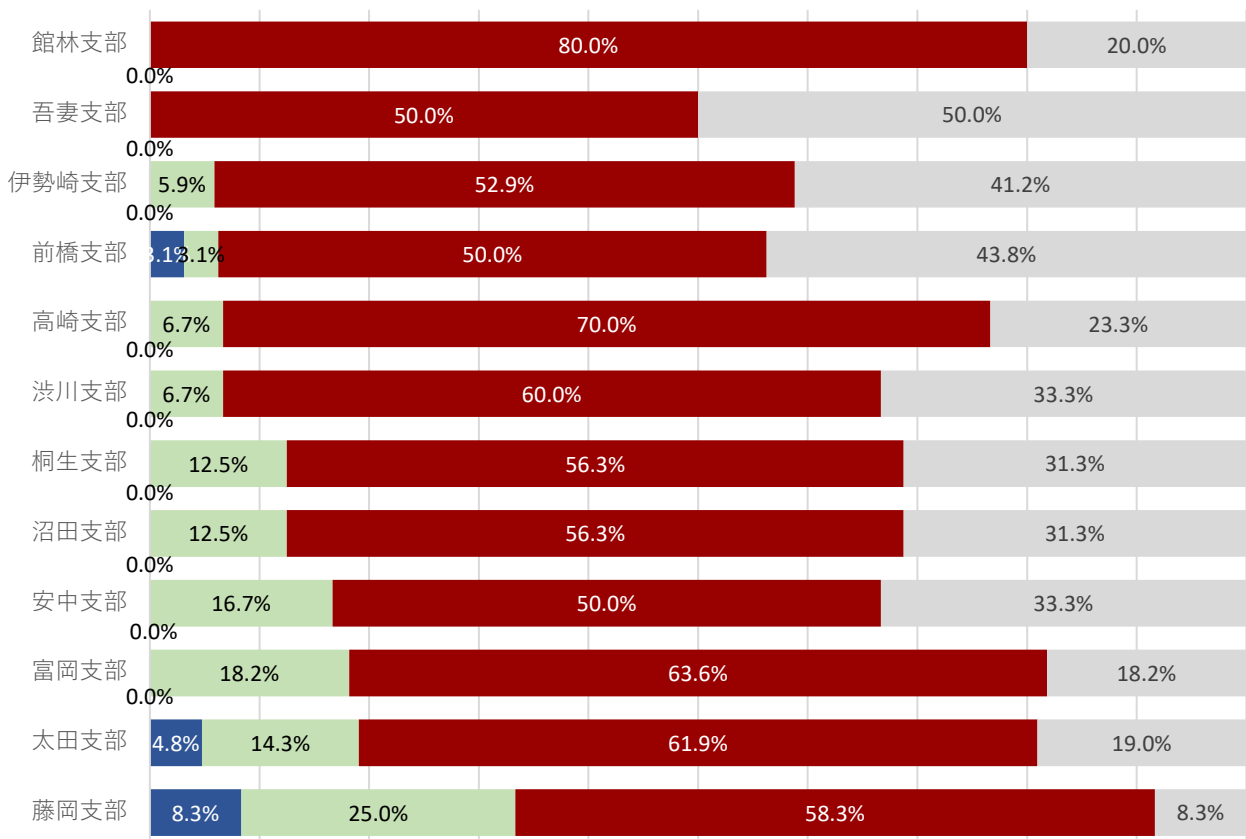
項目	選択社数
①例年よりも受注量が増加する見通しである	3
②例年通りの受注工事量を確保できそう	18
③例年よりも受注量が減少すると思われる	113
④わからない	56

※該当なし(民間工事受注なし)と回答した45社を除く社数。

後述のウッドショックの影響もあり、半数以上が減少を予想しているが、分からないと回答した企業も約3割に上り、先行きの不透明感が強く表れている。



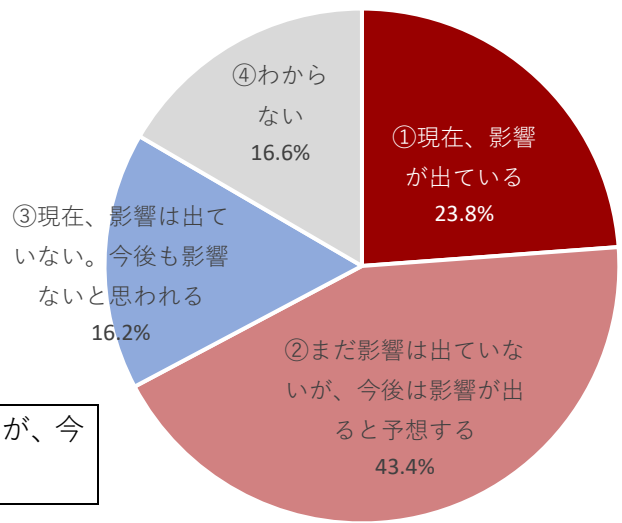
【各支部別の状況】



■①例年よりも受注工事量が増加する見通しである ■②例年通りの受注工事量を確保できそう
 ■③例年よりも受注量が減少すると思われる ■④わからない

7. 世界的な木材不足による木材価格高騰、いわゆる「ウッドショック」の影響

項目	選択社数
①現在、影響が出ている	56
②まだ影響は出ていないが、 今後は影響が出ると予想する	102
③現在、影響は出ていない。 今後も影響ないと思われる	38
④わからない	39

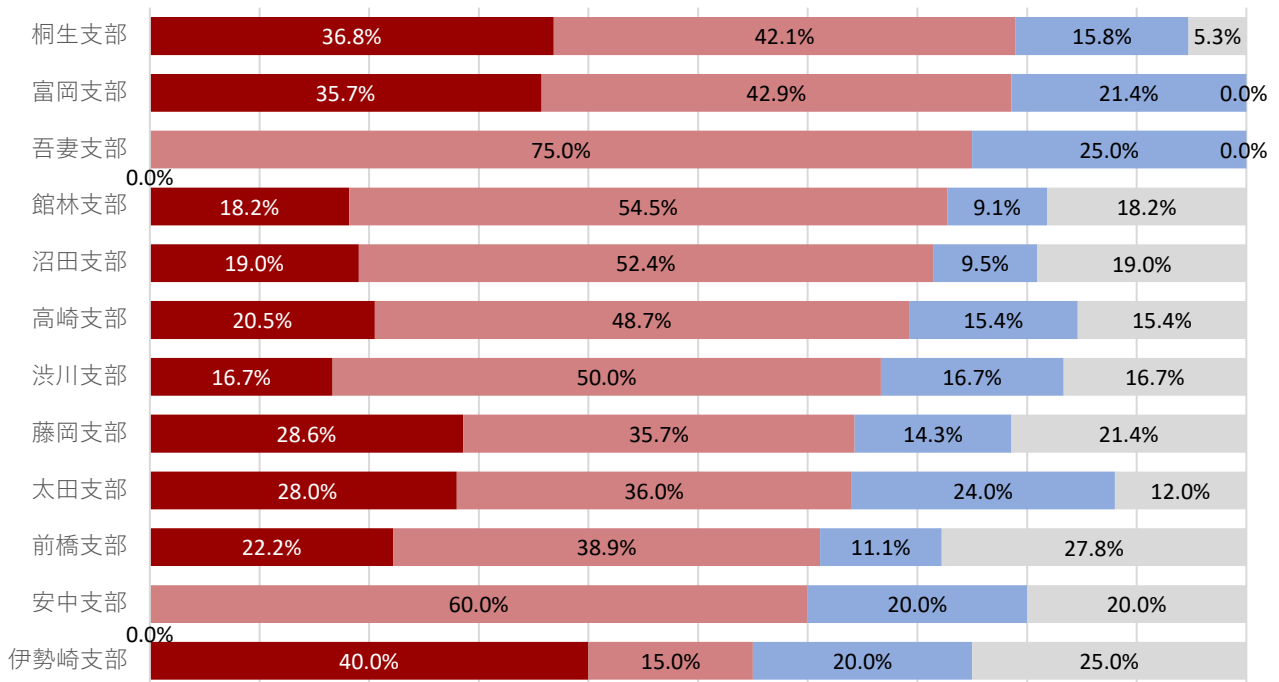


現在影響が出ていると回答したのは23.8%だったが、今後の影響を不安視する企業も多い。

【意見（抜粋）】

- ・ 住宅部門での工期遅れ、木造工事での下請単価大幅増額。
- ・ 木材を使う予定が鉄骨に変えざるを得ない。国産材の木となるとコストが高くなる。
- ・ 今秋着工予定だった木造新築工事が延期となった。
- ・ 型枠材（コンパネ）が入手困難である。
- ・ 材料高騰により受注が困難になっている。
- ・ 土木資材でも影響が出てくるかもしれず不安。

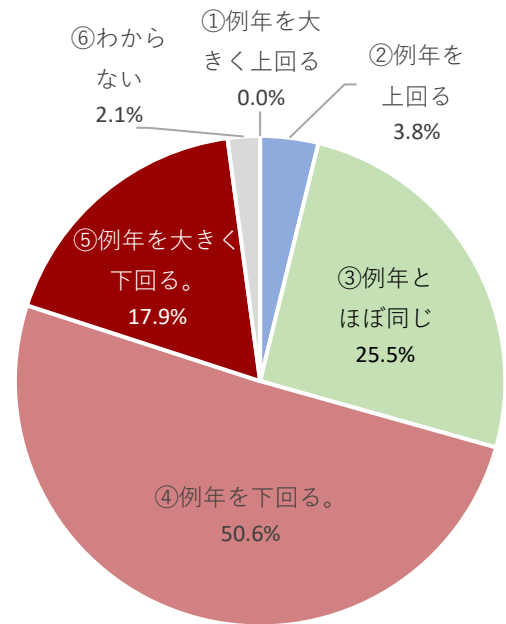
【各支部別の状況】



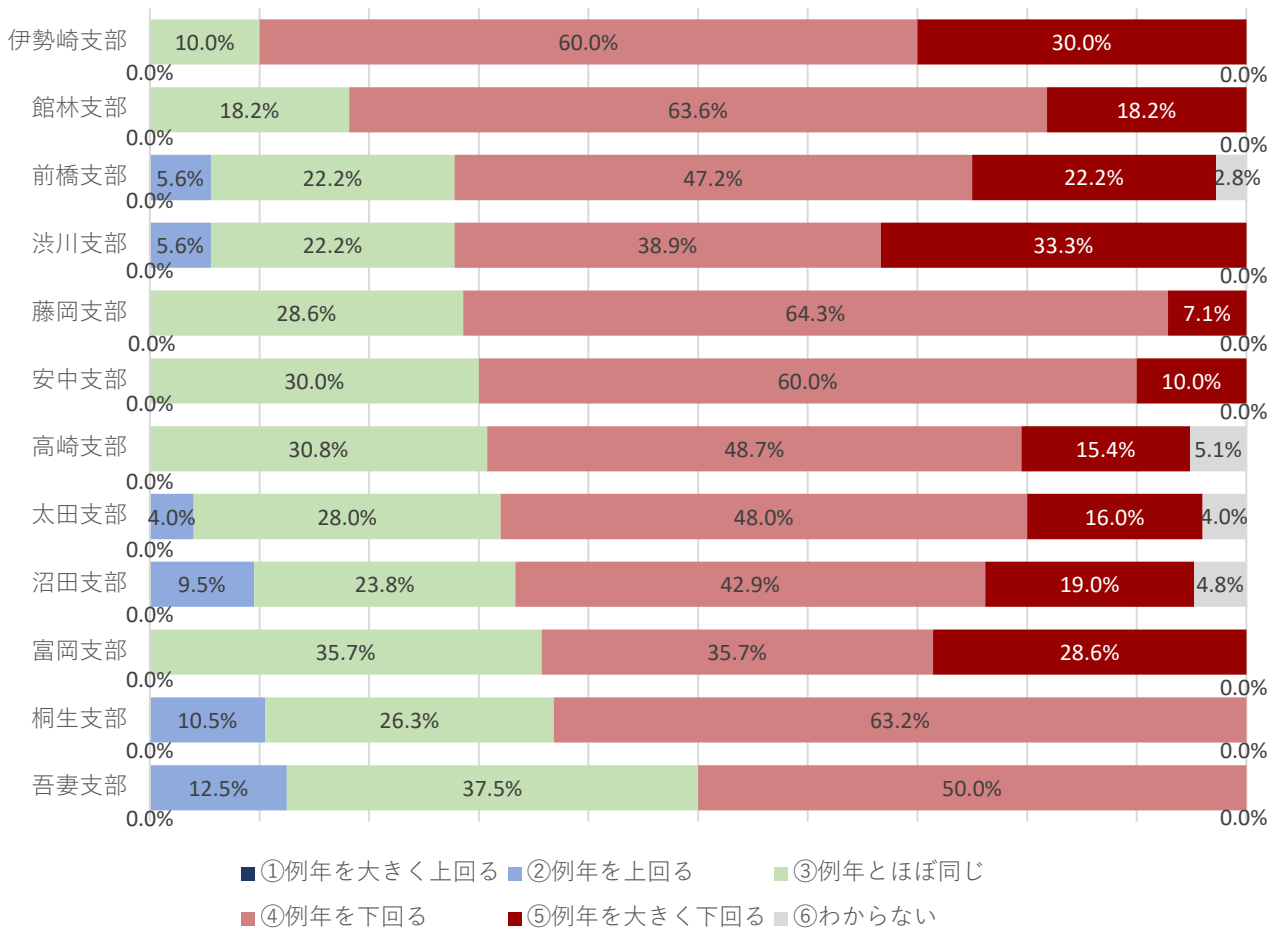
- ①現在、影響が出ている
- ②まだ影響は出ていないが、今後は影響が出ると予想する
- ③現在、影響は出ていない。今後も影響ないと思われる
- ④わからない

8. 令和3年度の会社の売上高の予想

項目	選択社数
①例年を大きく上回る	0
②例年を上回る	9
③例年とほぼ同じ	60
④例年を下回る。	119
⑤例年を大きく下回る。	42
⑥わからない	5



【各支部別の状況】



例年よりも受注量が減少すると予想する企業が約7割となり、危機的な状況となっている。支部別では、伊勢崎と館林の減少予想割合が特に多くなっている。